綾瀬市立図書館パスファインダー
2022 年 11 月　発行

綾瀬市立図書館
住所：〒252-1107　綾瀬市深谷中 1-3-1
電話：0467-77-8191
ホームページ：https://www.ayaselib.jp/

SDGs：「ジェンダー平等」について調べる

SDGs…2016 年から 2030 年までの 15 年間で人類が達成すべき 17 個の目標をあらわす言葉

目標の５番目にかかげられているのは「ジェンダー平等を実現しよう」。
「男の子／女の子だから」って性別で自分や相手のことを決めつけてしまったことはない？一生学校に通うことができない女の子は男の子の２倍もいるってホント？
知ることで、もっと自分自身を大切にしたくなる。図書館で調べてみよう。

キーワードを見つけよう

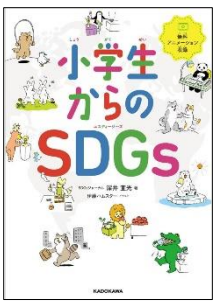
図書館にある本は、検索機（OPACといいます）に「キーワード」を入力して探すことができます。いくつかの「キーワード」を組み合わせることで、より探しやすくなります。

SDGs　ジェンダー　性差　男女平等
性自認　児童婚　セクシュアリティ
アイデンティティ　多様性　働き方
格差　自分らしさ　LGBT　人権

1 「SDGs」ってどういう意味だろう

『小学生からの SDGs』

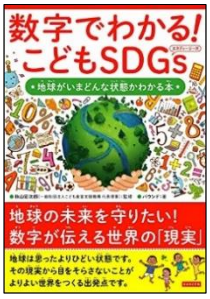
深井　宣光／著　伊藤　ハムスター／イラスト
KADOKAWA（333）



17 個の目標ごとに、日本と世界で起きていること、問題を解決しようとしている企業や団体をやさしい言葉で紹介します。

『数字でわかる！こども SDGs』

秋山　宏次郎／監修　バウンド／著
カンゼン（333）



世界がかかえる問題を、具体的な数字や写真・図を使って分かりやすく説明します。

ほかにもあります　『こども SDGs ブック』　古沢　広祐／監修　金の星社／刊（333）

2　世界ではどのような問題がおきているのだろう

性別による不平等で、権利や機会が奪われている子どもたちが大勢いる

『持続可能な地球のためにーいま、世界の子どもたちは』(全4巻)

茂木　ちあき、本木　洋子／著　どい　まき／絵　新日本出版社（367）

第２巻『学校にいきたい【教育】』では、子どもたちの教育の問題を考えます。教育を受けることができないと、大人になっても読み書きや計算ができず、安定した職業に就くことができません。特に女の子が学校に行けない割合は深刻です。国や地域による実態が写真やグラフによって分かりやすく示されています。

『わたしは女の子だから』

ローズマリー･マカーニー、ジェン･オールバー、プラン･インターナショナル／文
西田　佳子／訳　西村書店（367）

全世界で 6500 万人の女の子が、家事労働、望まない結婚や妊娠・出産により、「学ぶ権利」を奪われています。女の子が技能や知識を高め、安定した職業や収入を得ることで、広がっていく可能性について考えてみましょう。

ほかにもあります　　**『ナビラとマララ』**　宮田　律／著　講談社（316）

3「ジェンダー平等」を実現するための日本での課題

男女の格差を比べた「ジェンダーギャップ指数」、日本は 146 カ国中 116 位

世界経済フォーラム（WEF）「ジェンダーギャップ（男女格差）リポート」（2022）より

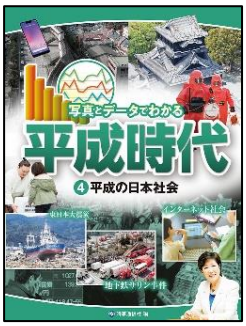
『考えよう！女性活躍社会（全3巻）』

孫　奈美／編　汐文社（366）

１巻『みんなが働きやすい社会って？』では、育児と仕事を両立している女性や女性経営者などへのインタビューを通じて、社会の課題や色々な考え方を知ることができます。

『写真とデータでわかる平成時代（全6巻）』

時事通信社／編　ポプラ社　（210）



④『平成の日本社会』では、平成時代に大きく進んだ、女性の社会進出・子育て支援の移り変わりや課題を、図やグラフなどで分かりやすく説明します。

4　身体的な性別にとらわれないってどういうこと？

男性だから、女性だからとさまざまな差別を受けることのない社会を作ろう

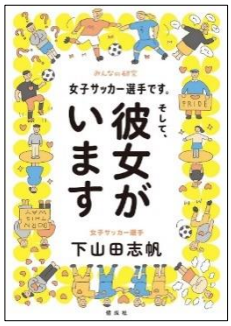
『ジェンダー・アイデンティティ』

佐々木　掌子／監修　国土社(367)

自分の性を知ることは、自分を知ること。悩んだり、考えたりすることは心理的な成長のあかしです。ジェンダー・アイデンティティ(性自認)について、マンガを交えて丁寧に説明します。

『女子サッカー選手です。そして、彼女がいます』

下山田　志帆／著　偕成社(367)



同性のパートナーがいる女子サッカー選手が語る、大切にしていることや、自分の心や体への向き合い方が書かれています。スポーツに取り組む人、関わる人たちにもぜひ読んでもらいたい１冊。

『きめつけないで！「女らしさ」「男らしさ」』(全3巻)

治部　れんげ／著　小林　裕美子／イラスト・マンガ　汐文社(367)

『①女の子が意見をはっきり言うなんて！？ほか』

「男の子の色、女の子の色が決まっているの？」「女の子だけお手伝い？」みなさんの周りにもかたよった考え方があるかもしれません。自分ならどう思うか、考えてみましょう。

『③校長先生はほとんど男の人！？ほか』

「世界のパパたちはどうしている？」「日本のリーダーは男性が多い」など、これからどうしていったら良いかを考えるきっかけとなるテーマをあげて解説しています。

『女の子だから、男の子だからをなくす本』

ユン・ウンジュ／著　イ・ヘジョン／絵　ソ・ハンソル／監修
すんみ／訳　エトセトラブックス(367)

「女の子はリーダーになれない」「男の子は泣いてはいけない」など、みなさんをしばる「ことば」がなぜいけないのか、そこから自由になるにはどうしたらいいのかを具体的に解説。

『「ふつう」って何？性はいろいろ』

田代　美江子／監修　アルバ／編著　金の星社／刊(367)

性の「ふつう」や、みんなの「ちがい」について考えてみませんか？ 自分の性について理解されなかった経験のある人たちのインタビューなども収録されています。

5 「ジェンダー平等」をテーマにしたよみものを読んでみよう

読んでみて何を感じた？自分だったらどうするだろう？

『すし屋のすてきな春原さん』

戸森　しるこ／作　しんや　ゆう子／絵　講談社（トモ）

昔からの差別的な考えで非常に数の少ない女性のすし職人。そんな女性職人の春原さんとの出会いから、男女平等や、女性の社会での活躍について考える小学生の物語。

『考えたことなかった』

魚住　直子／著　西村　ツチカ／絵　偕成社（ウオ）

「ふつう」は男子がおごるもの？おばあちゃんは妹にだけ手伝いをさせる。いったい、どういうことだ？不思議なしゃべるネコの警告をきっかけに、中学２年生の颯太は社会の仕組みに気づき始めます。

ほかにもあります

『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』 キース・ネグレー／作　石井　睦美／訳　光村教育図書（E）

『ホオナニ、フラおどります』 ヘザー・ゲイル／文　ミカ・ソング／絵　クウレイナニ橋本／訳　さ・え・ら書房（E）

6 インターネットで調べてみよう(2022 年 11 月現在)

- **『ＥｄｕＴｏｗｎ　未来を担う子どもたちと,それをはぐくむ先生のための教育総合サイト』**
  https://www.edutown.jp/
- **綾瀬市『男女共同参画社会ってなあに　？』**
  （トップページ＞市民向け＞相談・広聴・人権・男女共同参画＞
  人権・男女共同参画＞「男女共同参画社会ってなあに　？」）
  https://www.city.ayase.kanagawa.jp/hp/page000037800/hpg000037770.htm

◆紹介している本のタイトルのあとにあるカッコの数字は、「請求記号」といいます。図書館の本は、この数字の順番で本だなに並んでいて、数字は本の背中に書いてあります。本を探す手がかりにしましょう。

◆調べた本のタイトルやウェブサイトの名前は必ず記録しましょう。

◆インターネットに書かれた情報は、必ずしも正しいとは限りません。そのページを作った人がだれか分からないときは、ほかのウェブサイトや本でも同じことが書かれているか、よく確かめましょう。

◆うまく本が見つからないときは、図書館司書に質問してください。調べたいことがのっている本を探すお手伝いをします。